

# 妙安寺だより 327

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

## 〔お会式の意義〕

日蓮聖人は、今から730年前の弘安5年(1282)10月13日の午前8時頃、今の東京池上の地の信徒・池上宗仲の屋敷でされました。数え年61歳でした。

そのとき、大地は震動し、秋だというのに、池上の屋敷の桜の花がいっせいに咲きほこったと伝えられています。桜の花で飾られた万灯は、この言い伝えによるものです。また、万灯は、ったの闇を取り除き、法華経の救いをもたらした日蓮聖人の魂をあらわしています。

日蓮聖人は、貞応元年(1222)2月16日、の国(千葉県)のという漁村に生まれました。その折、蓮の花が咲いたと伝えられています。

日蓮聖人は、蓮とともに生まれ、桜とともに入滅されたこととなります。

蓮の花は、汚れたにらかな花を咲かせ、桜の花は、明るい光の中で美しく咲きほころび、それは、日蓮聖人の命が、蓮華と桜と日の光と一緒に生き続けていることを物語っています。

日蓮聖人の命にふれ、出会い、信じて苦しみをなくし、その教えに導かれて幸せに生きていこうと誓う日が、・とも呼ばれた「」の意義なのです。

「お会式」は、日蓮聖人の心を受け継ぎ、その教えを信じて、これまで自分を支えてくれた人たちに恩返しをする日なのです。

また、綿帽子をかぶせるのは、日蓮聖人が文永元年(1264)11月11日の東条景信の襲撃に(小松原法難)その折、眉間に傷を負われました。その傷を冬の寒さから耐え忍ぶためにかぶせるようになりました。

## 平成24年度の地涌の声「功德主」の募集

平成24年度の地涌の声「功德主」の募集を致しております。ひと月 5000円です。(300通、各檀信徒へ寺報とともに配布)。申し込みご希望の方は、早めに(希望つきの2ヶ月前)お願いします。

※同じ月になった場合は、先着順になりますのでご了承ください。

なお、2月・4月・6月・12月は、申し込み済みです。

